

## 愛知県環境影響評価審査会会議録

1 日時 平成25年4月10日（水）午前10時から午前11時40分まで

2 場所 愛知県自治センター 4階 大会議室

3 議事

(1) 会長の選任について

(2) 知多都市計画道路1・3・6号西知多道路環境影響評価準備書について

(3) その他

4 出席者

委員16名、説明のために出席した職員16名、都市計画決定権者2名

5 傍聴人等

傍聴人1名、報道関係者1名

6 会議内容

(1) 開会

(2) 議事

ア 会長の選任について

- ・ 会長について、大東委員が互選により選出された。
- ・ 議事録の署名について、大東会長が酒巻委員と二宮委員を指名した。
- ・ 会長代理について、大東会長が松尾委員を指名した。

イ 知多都市計画道路1・3・6号西知多道路環境影響評価準備書について

- ・ 知多都市計画道路1・3・6号西知多道路環境影響評価準備書について別紙1のとおり諮問を受けた。
- ・ 資料2（第1章から第6章まで）について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【葉山委員】 青海ICの南側では、道路と河川が重なっているが、この部分の道路構造はどうなっているのか。

- 【都市計画決定権者】 準備書の3-10ページに、工事用の施工ヤードも含めた事業実施区域が示されているが、道路計画は河川と重ならず、併走することとなる。この区間の道路構造は嵩上式であり、橋梁又は盛土とする計画である。
- 【事務局】 準備書の4-1-24ページに河川、ため池の状況が示してあり、3-10ページの道路構造と併せてみると、河川があるところは嵩上式となっていることがわかる。
- 【二宮委員】 青海ICの近くに地下式の道路構造となる計画と説明があったが、地域住民からの反対はないか。
- 【都市計画決定権者】 パブリック・インボルブメントの手続の中で、地域分断に関する意見があったことを踏まえ、地下式の構造としている。
- 【大東会長】 計画しているルートに、移転しなければならない家屋が何軒かあると思われるが、住民はそのことを了承しているか。
- 【都市計画決定権者】 平成24年12月に住民向けに行った都市計画の原案の説明会において、都市計画の段階での道路計画をお示しした。今後、事業実施にあたって、用地測量や詳細設計を踏まえ、支障物件についての話し合いが行われることとなる。

・ 資料2（第7章以降）について、事務局から説明があった。

- 【夏原委員】 1点目は、二酸化炭素の排出について、なぜ評価をしていないのか。2点目は、生態系ネットワークについて、愛知県では知多半島を重点地区の一つとして施策を進めているが、それとの関係はどうか。特に、準備書の8-11-12ページに食物連鎖の関係図があり、上位種としてオオタカ、典型種としてホンドタヌキを国の指針どおりに選定しているが、知多半島ではキツネは外すことのできない種だと思われるので、テンとホンドタヌキの評価を参考に、キツネへの影響についても考えていただきたい。3点目は、南部区間の多くで盛土構造が計画されているが、外来植物が侵入するおそれが考えられるので、よく検討されたい。
- 【事務局】 1点目の温室効果ガスに対する意見については、準備書の6-5ページに示すとおり、方法書に対する知事意見として述べているところである。
- 【都市計画決定権者】 道路事業に関する環境影響評価については、道路事業に関する主務省令に基づいて「道路環境影響評価の技術手法」が示されている。この技術手法では、現段階において、温室効果ガスに関する予測・評価に係る

手法が示されていないことから、今回のアセスでも予測・評価を行っていない。

- 【夏原委員】 違和感はあるが、専門外の分野であるので、これ以上意見しない。
- 【事務局】 2点目の生態系においてキツネの影響もみるべきであるという意見については、生態系において種を選定した理由を示す中で、部会において説明していくこととしたい。生態系ネットワークとの関係については、準備書の3-18ページの詳細設計にあたっての配慮事項に記載されたとおり、愛知県が進めている「生態系ネットワーク形成」を推進するため、自然環境にも配慮し、できる限り動植物の生息・生育地の確保や行動圏の分断の回避に努めるとしている。3点目については、準備書の3-18に配慮事項を記載されている。
- 【大東会長】 これについても、部会において議論していただきたい。
- 【山澤委員】 次の点について、部会で議論していただきたいと思う。1点目は、準備書の8-1-15ページの調査地点3の風配図が、調査地点1、2、4の風配図の傾向と異なっていることが気になる。適切な調査が行われたかどうか、部会で検討できるようにしていただきたい。2点目は、濃度の予測を十数カ所で行っているが、現地調査を行った4カ所との関係はどのようになっているのか。また、供用時の平面予測をしている地点について、準備書の8-1-116ページで示した予測結果はどのような値であるのか。3点目は、函渠構造の部分について、換気がどのように行われて、大気質についてどのような予測・評価をされているのかご説明いただきたい。
- 【大東会長】 部会で説明していただければよいと考えるが、事務局から簡単に説明があれば。
- 【事務局】 1点目の風配図について、調査地点は問題ないと思われるが、理由等を整理した上で部会において説明させていただきたい。2点目の4調査地点から複数の地点の予測を行う方法については、バックグラウンド濃度を計算するとき、予測地点近傍の一般環境大気測定局における値を現地調査結果で補正することにより計算しているが、これについても部会で説明する。3点目の函渠構造の部分の予測手法については、今回、換気施設は計画されていないが、トンネル形状となっている部分については、「道路環境影響の技術手法」に基づいて予測・評価を行っている。これについても部会で詳しく説明させていただきたい。
- 【山澤委員】 仮に調査地点が適切でないとすると調査のやり直しが必要となる。調

査地点3は、他の調査地点と比較すると、静穏率が高く、風速が弱くなっている。この地域の地形の影響ということであれば、問題ないとは思いますが、確認いただきたい。

【事務局】 ご指摘のとおり、調査地点が適切でない場合は予測結果にも影響することとなる。

【武田委員】 災害に関して、津波に対する対策がとられている道路かどうか。5.5mの高さの盛土や、一部では地下式の構造もあるが、その部分が浸水すれば、緊急輸送道路という役割が果たせなくなるのではないかと。

【都市計画決定権者】 津波に対しては、道路の高さとしてT P（東京湾平均海面）プラス4メートルを確保している。東海JCTから長浦ICについては、津波に対して、地元自治体も含めて、避難経路の確保等のソフト面での対策を図っていただきたいと考えている。緊急輸送路に関しては、西知多道路は、知多半島道路とのダブルアクセスを念頭に入れ、事故等が生じた場合の緊急輸送路になると考えており、地震に対するものだけでないと考えている。

【武田委員】 災害時に物資が円滑に輸送できるように考えていただきたい。

【都市計画決定権者】 高架・橋梁部分などの道路の構造設計に関しては、事業実施段階における最新技術の知見を踏まえて、地震に耐えうる構造を確保する。

【増田委員】 工事時において法面等を早期緑化に努めるとあるが、早期緑化のために外来種が侵入するのはよくない。早期緑化の手法を記載されたい。在来種による緑化ではなく、1年以上前から準備が必要となるが、地元の種で緑化することも検討されたい。

【事務局】 準備書の3-18ページの3) 詳細設計にあたっての配慮事項において、極力在来種による緑化を行うとしており、使用する特定の種については、事業実施段階で検討していく予定としている。

【増田委員】 極力在来種による緑化を行うとされているが、在来種ではなく、郷土種を使用していただきたい。また、極力、とあるが、間に合わなくてできないということがないようにしていただきたい。

- ・ 知多都市計画道路1・3・6号西知多道路環境影響評価準備書について審査させるため、大東会長の指名により、別紙2のとおり西知多道路部会を設置した。

ウ その他

- ・ 参考資料 2 及び参考資料 3 について、事務局から説明があった。

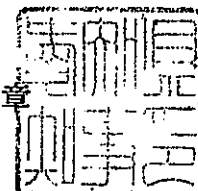
(3) 閉会

平成25年4月10日

愛知県環境影響評価審査会

会長 大東憲二様

愛知県知事 大村秀章



知多都市計画道路1・3・6号西知多道路環境影響評価準備書に  
ついて（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成10年愛知県条例第47号）第33条において準用する同条例第20条第4項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担当 環境部環境活動推進課

環境影響評価グループ

電話 052-954-6211（ダイヤルイン）

## 愛知県環境影響評価審査会委員 西知多道路部会委員

委員名	所属等
たしろ 田代 むつみ	名古屋大学大学院工学研究科助教
たにわき 谷脇 ひろしげ 弘茂	藤田保健衛生大学医学部講師
なるせ 成瀬 いちろう 一郎	名古屋大学エコトピア科学研究所教授
はせがわ 長谷川 あきこ 明子	公益財団法人日本生態系協会評議員
ひろばた 廣島 やすひろ 康裕	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
ますだ 増田 みちこ 理子	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
まつお 松尾 なおき 直規	中部大学工学部教授
やなぎさわ 柳澤 のりお 紀夫	公益財団法人日本鳥類保護連盟理事
やまざわ 山澤 ひろみ 弘実	名古屋大学大学院工学研究科教授
よしひさ 吉久 こういち 光一	名城大学理工学部教授
よしむら 吉村 いづみ	名古屋文化短期大学教授

(敬称略、五十音順)